

7月25日～8月9日、本校の生徒16名が米国サウスキャロライナ州チャールストン市で研修を行います。滞在中は100年以上の歴史を持つ女子高のAshley Hall校と連携し、アメリカ、ドイツの生徒と「女性のグローバルなキャリアデザイン」について協働で研究します。企業訪問や女性グローバル・リーダーとのセッションなども行い、国際的な視野の拡大を目指します。

7月25日（月）チャールストンに到着しました



[成田空港にて]

7/25（月）成田空港からチャールストン空港へ

7月25日、生徒16名と教員2名が成田空港を出発し、テキサス州のダラス空港を経由して、チャールストン空港に到着しました。



7/26（火）Ashley Hall校での授業開始

到着の翌日、待ちに待ったAshley Hall校での授業が始まりました。本校の生徒16名、ドイツからの生徒3名、アメリカ人のGA(Global Ambassador)5名、合計24名が参加する授業です。

「積極的に発言する」「自らコミュニケーションする」などの決意を胸にチャールストンに来た生徒たち。自分のことについて話し、質問を受けるアクティビティでは、お手本のGAに続いて積極的に挑戦していました。



休み時間には、ドイツの生徒やAshley Hall校の生徒に日本語の挨拶の仕方を根気強く教えるなど、3カ国の生徒たちがお互いの文化を伝え合う姿も見られました。

この豊かな環境に感謝し、日米独の仲間たちとキャリアデザインについての研究を深めていきたいと思えます。



[真剣な表情で授業に臨む生徒たち]



[Ashley Hall校]

1909年にサウスキャロライナ州唯一の女子高として設立されたAshley Hall校は、各界で活躍する人材を輩出してきました。